

令和8年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第21回） プログラム

期 日 : 令和8年5月21日（木）～23日（土）

開催形態 : Zoomによるオンライン開催

主 催 : 独立行政法人大学入試センター

共 催 : 梶山女学園大学

後 援 : 文部科学省, 一般社団法人国立大学協会, 一般社団法人公立大学協会,
日本私立大学団体連合会, 全国公立短期大学協会, 日本私立短期大学協会

日 程 :

日 程	プログラム	時 間
【1日目】 5月21日 (木)	自主企画セッション 「大学入学者選抜における多様性を考える ―アフーマティブ・アクションの論点整理―」	10:00 ～ 12:00
	全体会1（センターセミナー） 「大学入学共通テストの成績の段階表示をどう活用するか」	14:00 ～ 16:30
【2日目】 5月22日 (金)	主催者挨拶, 来賓挨拶	9:40 ～ 10:00
	全体会2 「総合型・学校推薦型選抜のこれからを考える」	10:00 ～ 12:30
	全体会3 「女子学生の育成を見据えた入試制度 ―総合型選抜を念頭に―」	14:00 ～ 17:00
【3日目】 5月23日 (土)	研究会 オープンセッション（第1部） 第1セッション	9:30 ～ 11:40
	第2セッション	9:30 ～ 12:00
	オープンセッション（第2部） 第3セッション	14:00 ～ 16:10
	第4セッション	14:00 ～ 15:50
	第5セッション	14:00 ～ 15:50
	研究会 クローズドセッション	9:30 ～ 12:00
	交流の場	(研究会各セッション 終了後20分間)

自主企画セッション ※

「大学入学者選抜における多様性を考える —アファーマティブ・アクションの論点整理—」

日 時 : 令和8年5月21日(木) 10:00~12:00

会 場 : Zoomミーティング

企 画 者 : 國武悠人(筑波大学大学院)

登壇者等 :

報告①「大学入試における女子枠制度」

..... 君塚 正臣(横浜国立大学教授)

報告②「大学入試における女子枠に対する態度 —大学進学希望者を対象に—」

..... 呂 佳臨(東北大学大学院教育学研究科)

報告③「欧米先進国における大学入試 AA・DEIの様相:『枠』の否定と『考慮』の限界」

..... 國武 悠人(筑波大学大学院理工情報生命学術院)

パネルディスカッション「これからの大学入試と多様性を考える」

..... 中村 高康(東京大学教授)

..... 松下 朋弘(弁護士)

..... 呂 佳臨(東北大学大学院教育学研究科)

..... 國武 悠人(筑波大学大学院理工情報生命学術院)

内 容 :

本セッションは、推薦入試等で導入が進む「女子枠」をはじめとするアファーマティブ・アクションをめぐり、多様性の促進と選抜の公平性をどう両立させるかを、理論と法制度の両面から論点整理することを目的とする。例えば、女子枠は理工系のジェンダー偏在の是正を掲げつつ、受験機会の男女不均衡、スティグマの発生、制度の説明責任、効果検証の設計、憲法適合性など多面的な争点を含む。また、世界に目を向けると、性別だけでなく経済社会的地位を踏まえるアファーマティブ・アクションも存在する。

本企画では、大学入学者選抜におけるアファーマティブ・アクションの実態、当事者の受け止め、社会的合意形成、そして法的評価の枠組みを接続し、今後の研究と入試実務に資する論点整理を提示する。

特に女子枠を中心に、導入状況等の基礎統計や当事者意識、欧米先進国を中心とする諸外国の様相、そして法的課題に係る各報告者の整理の上で、①アファーマティブ・アクションの「成果」は何か(入学者構成、継続率、学修成果、進路等)②不利益が生じ得る

主体と形は何か（対象受験者，対象外受験者，大学，社会）③平等原則との関係で正当化される条件は何か（目的の正当性，手段の合理性・必要最小限性，代替手段の比較）④制度を検証可能に運用するためのガバナンス・アカウンタビリティはどう設計すべきか（評価指標，公開，あるべき姿）を中心にパネルディスカッションを行う。

特に，クォータが数値目標だけに回収されるリスクや，性別以外のインターセクショナルリティ（地域，所得，ファーストジェネレーション）の議論も踏まえつつ，クォータ以外の施策（受験前優先情報提供，逆境加点，学修支援，ホリスティックレビュー等）も含む選択肢も議論する。

本自主企画セッションとして何らかの結論を出すものではなく，多角的な論点の提示によって，セッション参加者が，多様性と公正性に関する知見を深め，参加者が自組織の入試実務でも活用可能な「材料」を入手できる機会を目指す。

なお，参加者にとってより有意義なセッションとするため，報告だけでなく，パネルディスカッションにも質疑応答の時間を設ける。

※ 自主企画セッションは，全国大学入学者選抜研究連絡協議会（入研協）をより活性化するとともに，入試研究に携わる若手研究者の育成・支援の一環とするため，参加者から企画を公募して実施するセッションです。

全体会 1（センターセミナー）

「大学入学共通テストの成績の段階表示をどう活用するか」

日 時 : 令和8年5月21日（木） 14:00～16:30

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 椎名 久美子（大学入試センター教授）

パネリスト及びサブテーマ：

報告①「段階表示とはなにか」

..... 荘島 宏二郎（大学入試センター教授）

報告②「総合型選抜における段階表示の活用事例」

..... 森川 修（鳥取大学教授）

報告③「入学者選抜における段階表示活用の変遷事例」

..... 佐野 真紀夫（静岡理工科大学学術企画室室長補佐）

報告④「段階表示がなぜ活用されないか—現状と課題—」

..... 沖 清豪（早稲田大学教授）

指定討論

..... 渡辺 豊隆（鹿児島県立沖永良部高等学校校長）

内 容 :

令和3年度から開始した大学入学共通テストでは、各大学からの請求に基づき、志願者の教科・科目の試験成績として、「科目別得点」に加えて「段階表示」が提供されるようになった。しかし、現状では、段階表示を選抜に用いている大学はごくわずかである。大学および高校関係者に段階表示の意味を正しく知ってもらうと共に、段階表示をどう活用できるかを考える契機としたい。

報告①では、段階表示の統計的な意味を改めて説明する。報告②と③では、2つの大学から、導入の際の考え方や入試でどう使ったか、課題や注意すべき点、高校からの反応などを紹介いただく。報告④では、大学関係者の立場から、段階表示の現状と課題についての概観を示す。指定討論で、高校関係者から段階表示の受け止め方等の論点を提示いただいた後、入試で段階表示をどう活用できるのかについて全体討論を行う。

段階表示を利用する際の課題や注意すべき点についても可能な範囲で共有していただくことで、段階表示の適切な活用方法を考える機会としたい。

全体会 2

「総合型・学校推薦型選抜のこれからを考える」

日 時 : 令和8年5月22日(金) 10:00~12:30

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 大谷 奨(筑波大学教授)・竹内 正興(香川大学教授)

パネリスト及びサブテーマ:

報告①「総合型・学校推薦型選抜の成果と展望

ー高校教育活動と接続した入試と入学者の学力・学習意欲に着目してー

..... 大久保 貢(福井大学アドミッションセンター教授)

報告②「総合型・学校推薦型選抜の成果と展望

ー高大シームレスな学びを実現する探究活動支援と高大接続枠入試ー

..... 山本 朝昭(崇城大学入試広報部長)

報告③「総合型・学校推薦型選抜拡大に対する高校の進路指導

ー西日本公立高校の事例からー

..... 田野 雅人(岡山県立玉島高等学校教諭)

報告④「総合型・学校推薦型選抜拡大に対する高校の進路指導

ー首都圏郊外の私立高校での事例からー

..... 宮永 厚(成田高等学校教諭)

内 容 :

大学入学者選抜において一般選抜以外の入学者の増加傾向が続いている。文部科学省が公表している2024年度入学者選抜実施状況を見ると、「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」を経た入学者の割合は国立大学18.5%、公立大学30.5%、私立大学59.3%となっており、10年前と比較すると、国立大学で3.7ポイント、公立大学で4.4ポイント、私立大学で9.3ポイントそれぞれ上昇している。さらに、「総合型選抜」の増加が著しく、私立大学では2024年度「一般選抜」の入学者の割合が39.0%まで減少し、入学者選抜の中心が「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」に移行した大学が多いことが指摘できる。

ただし、一口に「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」といっても、設置者区分や求める人材像、また、選抜性の程度等によって具体的な実施方法は各大学によって異なるため、一般化することは困難であると考えられる。特に「総合型選抜」では、生成AIの進化に対応した出願書類の審査の在り方や、初等・中等教育における探究学習等の教育活動との接続を踏まえた入試の設計、また、入試実施時期の早期化の問題や基礎学力の把握、合格

後の学習意欲の継続など、実施に際して検討すべき課題が多い。

そこで、本セッションでは、「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」を実施し学生を受け入れる大学側、および、受験生を送る高等学校側のそれぞれの立場から「総合型選抜」、または「学校推薦型選抜」に係る成果・課題・今後の展望についてご講演いただき、会場全体で「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」の将来像について考える機会としたい。

全体会 3

「女子学生の育成を見据えた入試制度

—総合型選抜を念頭に—

日 時 : 令和8年5月22日(金) 14:00~17:00

会 場 : Zoomウェビナー

司 会 : 荒井 清佳(大学入試センター准教授)・竹内 聖彦(椋山女学園大学教授)

パネリスト及びサブテーマ:

趣旨説明「女子学生の育成を見据えた入試制度 —総合型選抜を念頭に—」

報告①「女子大学の学生募集状況を含む女子大学の現状」

..... 深谷 和義(椋山女学園大学教育学部教授)

報告②「理工系学部における女子学生確保の方策」

..... 高木 繁(名古屋工業大学名誉教授・高大院接続支援機構代表理事)

報告③「女子学生増加を目指す試み(女子枠導入)」

..... 森田 桂花(九州大学アドミッションセンター・准教授)

報告④「総合型選抜による多様性確保と女性工学人材の育成の取組」

..... 木村 智志(九州工業大学アドミッションオフィス・准教授(専門職))

報告⑤「女子学生の進路選択と女子大学・女子枠」

..... 安東 由則(武庫川女子大学教育総合研究所・教授)

内 容 :

近年は女子大学の在り方や理工系の女子枠、あるいはより一般にジェンダーバイアスの問題がクローズアップされ、同時に18歳人口の減少に伴い、女子大学の閉学や共学化が進んでいる。京都女子大学長竹安氏の言葉を借りれば、女子学生への教育効果の実質的平等の実現には、単に共学か別学かという学生の性別構成の問題ではなく、どのような教育理念と目標を掲げ、その目標達成に最も適合的な教育環境と教育プログラムをどのように整備するのかという点が重要である。全体会3は、そのような教育をどのような学生に対して展開していくかという課題の入り口にあたる学生募集に関して、女子学生に特化した理工系の女子枠や多様な学生確保を目指す総合型選抜について、学生確保の現状と今後の課題を情報共有することで、参加者の皆様が総合型選抜等の入試システムの改善を検討する際のヒントとしていただくことを目的とする。

具体的には、日本の女子教育を牽引してきた多くの女子大学の歴史と学生募集の現状の概略について情報共有したのち、卒業後の活躍の場が少ないと考えられてきたため女子

学生の進学先として選択されにくい理工系学部の入学試験において、他大学に先駆けて「女子枠」を設けて今日まで理工系女子の育成に注力している大学や、新たに「女子枠」を設置する大学、総合型入試など入学者の多様性を求めることで女子学生の確保と育成を目指す大学などの様々な事例をパネリストにご紹介いただき、女子大学の社会的文化的捉え方なども参考に、参加者とともに「女子枠」や総合型選抜等の入試システムの改善のための課題を議論する場としたい。

研究会（オープンセッション）

【第1セッション】〔入試広報〕

日 時：5月23日（土）9：30～11：40
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：齋藤 朗宏（北九州市立大学）・寺尾 尚大（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「高校教員対象の入試広報について
——「高大接続改革を考える会」を中心に——」
吉田 章人（新潟大学）

② 9：50～10：10

「From Traffic to Enrollment Intent: Interpreting Google Analytics Indicators to
Evaluate Open Campus Website Performance—A Case Study of Tohoku University」
Pinkie Anggia, Ruyu Lin, Tomohiro Miyamoto (Tohoku University)

③ 10：10～10：30

「日本語学校における広報活動の試行的実践（2）」
翁 文静（九州大学），宮本 友弘（東北大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「大学入学共通テスト後の入試相談会の設計
——鳥取大学を例としたコロナ前後の比較——」
森川 修（鳥取大学）

⑤ 11：00～11：20

「Webにおける入試情報広報の現状」
齋藤 朗宏（北九州市立大学）

⑥ 11：20～11：40

「大学の魅力を発信するための学生による動画制作の成果
——令和4年度から令和7年度までに制作された動画の分析——」
平井 佑樹（信州大学）

● 11：40～12：00

研究発表者と参加者との交流の場

【第2セッション】〔志願者動向〕

日 時：5月23日（土）9：30～12：00
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：林 寛子（山口大学）・橋本 貴充（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「受験生は出願校決定において誰の影響を受けてきたのか
——K大学入学者調査における19年間の動向より——」
竹内 正興（香川大学）

② 9：50～10：10

「北陸新幹線開業10年の入試への影響
——富山大学の事例——」
山田 貴光（富山大学）

③ 10：10～10：30

「女子大学教育学部における免許取得に必要な科目の変更に伴う入学者の状況」
朴 信永，深谷 和義（椋山女学園大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「東北大学におけるFirst-Generationに関する分析」
林 如玉，宮本 友弘（東北大学）

⑤ 11：00～11：20

「東北大学におけるAO入試（総合型選抜）志願者の受験行動
——一般選抜との関連に着目して——」
宮本 友弘，倉元 直樹（東北大学）

⑥ 11：20～11：40

「大学進学に伴う地元定着と地方流入の規定要因
——山口大学卒業生の地域間移動パターンに着目して——」
林 寛子（山口大学）

⑦ 11：40～12：00

「大学入学者選抜の多様化に関する比較分析
——日本の国立大学を中心に——」
西山 喜満主（京都大学）

● 12：00～12：20

研究発表者と参加者との交流の場

【第3セッション】〔入試業務、アドミッション・ポリシー〕

日 時：5月23日（土）14：00～16：10
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：山田 恭子（琉球大学）・宮澤 芳光（大学入試センター）

発 表：

① 14：00～14：20

「大学受験検討者からの問い合わせ対応における生成AI利用の検討
——回答支援効果とリスク分析——」

木村 智志，山口 百合，河野 悟史（九州工業大学）

② 14：20～14：40

「CBT入試における「コマンドセンター方式」の導入とその効果
——試験監督と技術サポートの連携によるトラブル対応の迅速化——」

下山 武文，宮本 友弘，長濱 裕幸（東北大学）

③ 14：40～15：00

「大学入試業務における生成AI活用の検討
——全国大学調査からみえる活用の可能性を中心に——」

西郡 大（佐賀大学），林 如玉（東北大学），露木 隆（佐賀大学），
脇田 貴文（関西大学），宮本 友弘（東北大学）

（15：00～15：10 休憩）

④ 15：10～15：30

「愛知県内の小学校教員免許取得可能大学において求める学生像の比較」

深谷 和義，小杉 裕子（椙山女学園大学）

⑤ 15：30～15：50

「入学前教育に期待される効果の検証
——高校教員の声に基づく実証的分析——」

山田 恭子（琉球大学），露木 隆（佐賀大学），古屋 龍規（琉球大学），
大塚 智子（高知大学），田上 一郎（高知大学），西郡 大（佐賀大学）

⑥ 15：50～16：10

「理工系国立大学アドミッション・ポリシーの構造分析
——プロトタイプとの比較と類型化——」

寺田 登与徳（九州工業大学）

● 16：10～16：30

研究発表者と参加者との交流の場

【第4セッション】〔入学前教育・高大接続〕

日 時：5月23日（土）14：00～15：50
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：露木 隆（佐賀大学）・江幡 知佳（大学入試センター）

発 表：

① 14：00～14：20

「動機づけを目的とした入学前教育プログラムの初年次への効果」
露木 隆，西郡 大（佐賀大学）

② 14：20～14：40

「早期合格者の学習継続を支援する入学前教育プログラムの設計と実装
——看護学部における開発事例——」
塚本 恭正（岩手医科大学）

③ 14：40～15：00

「入学前教育に関する研究動向の時系列的検討」
山本 以和子（京都工芸繊維大学），當山 明華（長崎大学），林 寛子（山口大学），
陣内 未来（京都工芸繊維大学）

（15：00～15：10 休憩）

④ 15：10～15：30

「Recontextualizing National Educational Policy to Support the Transition to
University Learning」
Hiroko Ueda（神戸大学）

⑤ 15：30～15：50

「一条校出身国際バカロレア修了生による日本の大学への移行
——進路選択から初年次における学習経験の転移と困難——」
江幡 知佳（大学入試センター），太田 知彩（筑波大学），赤塚 祐哉（相模女子大学），
齊藤 貴浩（大阪大学），島田 康行（筑波大学）

● 15：50～16：10

研究発表者と参加者との交流の場

【第5セッション】〔多面的・総合的評価〕

日 時：5月23日（土）14：00～15：50
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：立脇 洋介（九州大学）・伊藤 圭（大学入試センター）

発 表：

- ① 14：00～14：20
「令和7年度大学入学共通テスト『情報Ⅰ』における外部評価の比較分析」
丸山 雅貴（日本国際学園大学）
- ② 14：20～14：40
「高校生の大学入試に対する認識変容と進路選択」
立脇 洋介（九州大学）
- ③ 14：40～15：00
「高校生の探究活動分野と志望学部との関連に関する考察
——「総合的な探究の時間」を対象とした統制分析——」
中山 貴司，永田 純一，杉原 敏彦，砂原 徹（広島大学）

(15：00～15：10 休憩)
- ④ 15：10～15：30
「探究に求められる「問う力」を測定するQiアセスメントの開発と試行」
邱 麗，池田 文人，平 知宏，増田 眞由美，山下 尚子（大阪公立大学）
- ⑤ 15：30～15：50
「高大接続入試の初年次成績
——福井大学工学部の事例——」
大久保 貢（福井大学）
- 15：50～16：10
研究発表者と参加者との交流の場

研究会（クローズドセッション）

※クローズドセッションは、大学関係者のみが参加できる企画です。

〔多様な入学者選抜と追跡調査〕

日 時：5月23日（土）9：30～12：00
会 場：Zoomによるオンライン開催
司 会：喜村 仁詞（岡山県立大学）・牧野 直道（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「高大接続改革期における「3要素・3観点」と大学教育の現状と課題」
永野 拓矢（名古屋大学），宮本 友弘（東北大学）

② 9：50～10：10

「目標に準拠した評価が学習成績概評に与えた影響」
喜村 仁詞（岡山県立大学），大塚 智子（高知大学），関 陽介（神戸市外国語大学），
上岡 麻衣子（徳島大学）

③ 10：10～10：30

「3年次編入の入試制度と入学後の学習成果に関する考察」
陣内 未来，山本 以和子（京都工芸繊維大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「地方国立大学後期日程の再考
——国立T大学の事例から——」
矢田 尚也，塩川 奈々美，上岡 麻衣子，植野 美彦（徳島大学）

⑤ 11：00～11：20

「コロナ禍における信州大学志願者の行動変容と地域特性
——Web出願時アンケート（2019年～2025年）の結果考察——」
一之瀬 博，小暮 克哉，平井 佑樹（信州大学）

⑥ 11：20～11：40

「学業とキャンパスライフに関するIB生の意見—10年間フォローアップ調査」
マハムド サビナ（岡山大学）

⑦ 11：40～12：00

「大学院入試におけるDXに関する事例研究
——留学生向けアドミッション支援システムを基盤とした
オンライン出願システムの開発と展開——」
李 燕（大阪大学）

● 12：00～12：20

研究発表者と参加者との交流の場